

●腫瘍マーカー (5種セット)	CEA (がん関連抗原)	大腸がん、膵がん、胆道系がん、肺腺がん、乳がんなど
	AFP (α -フェトプロテイン)	肝細胞がん
	CA19-9	膵がん、胆道系がん、大腸がん、胃がんなど
	CYFRA (シフラ)	肺がん (特に扁平上皮がん)
	PSA (前立腺特異抗原) 男性のみ	前立腺がん
	CA125 女性のみ	卵巣がん
※腫瘍マーカー検査は、初期がんを感度よく見つける検査ではありません。また良性の病気でも高値となることがあり、異常値の場合でも必ずしも病気が考えられるわけではありません。		
●甲状腺	TSH(甲状腺刺激ホルモン)、FT4(甲状腺ホルモン:サイロキシン)の2種類を血液検査により測定する。甲状腺機能のスクリーニング検査。	
●ピロリ菌検査	ヘリコバクター・ピロリ菌に感染しているかどうかを血液中の抗体の有無により診断する。	
●ペプシノゲン検査	血液で見る胃がんのスクリーニング検査。陽性であれば慢性胃炎が進行していると考えられ、胃がん発症リスクが高くなるため、胃カメラによるがん検診や精密検査が必要となる。	
●ABC検査 (ピロリ菌+ペプシノゲン検査)	ピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮度をみるペプシノゲン検査から、胃がんの発生リスクを調べる。 ※リスク層別化検査ですので、単独のピロリ菌検査よりも陽性の判定が厳しくなっています。	
●脳梗塞リスクマーカー	自覚症状のない小さな脳梗塞である“かくれ脳梗塞”または“無症候性脳梗塞”の存在を血液で判断する検査。陽性の場合、脳の精密検査や動脈硬化を悪化させない健康管理が必要となる。	
●NT-proBNP検査	「心臓の負担」の程度をみる検査。心臓への負担が大きいほど高値となる。	
●貧血関連検査	血清鉄やフェリチン(貯蔵鉄)等を検査する。体内鉄が欠乏した状態(潜在性鉄欠乏症「隠れ貧血」)を予測することができる。貧血がなくても、体内鉄が欠乏しているだけで全身倦怠感などの症状が出る場合がある。	
●抗CCP抗体 (関節リウマチ検査)	関節リウマチにおいて高頻度に検出される自己抗体。特異度が高く、関節リウマチの早期診断にも有用と言われる。なお、関節リウマチの方でも10人中1~2人は陰性となるので、この検査が陰性であっても関節痛が続く際は受診が必要となる。	
●アレルギー検査 viewアレルギー-39	39種類のアレルギーの原因を調べる検査。	
●アレルギー検査(植物)	植物アレルギーの原因を調べる検査。	
●アレルギー検査(動物)	動物アレルギーの原因を調べる検査。	
●アレルギー検査(食品)	食品アレルギーの原因を調べる検査。	
胸部CT検査 (肺がん検査)	肺の小さな病変を見つける検査。	
頭部検査 (MRI・MRA)	症状のない脳の病気(無症候性脳梗塞、未破裂脳動脈瘤など)を見つける検査。	
喀痰細胞診検査	主に肺扁平上皮がんに対するスクリーニング検査。	
骨密度検査	骨粗鬆の診断に有用となる検査。	
視野検査 (緑内障スクリーニング検査)	視野(見える範囲)に欠損がないかを調べる検査。特に緑内障の約70%を占める正常眼圧緑内障のスクリーニングに有用である。	
頸動脈超音波(エコー)検査	超音波(エコー)で動脈を直接観察し、動脈硬化の程度・血管の詰まり具合や血管年齢をみる検査。	
血圧脈波検査(CAVI検査)	血圧と脈波を測定し、動脈硬化の程度・血管の詰まり具合や血管年齢をみる検査。	
子宮がん検査	子宮頸がんのスクリーニング検査。	
乳がん検査	乳房の触診に加え、マンモグラフィまたは乳腺エコーを行う。	

その他の検査(オプション検査)

●は血液検査